

第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会実施要項（一次案内）（案）

- 1 目的 宮城県内高等学校の理科研究教育実践の一環として、生徒理科研究の普及・発展を図るとともに、生徒相互の部活動の理解を深める。
- 2 主催 宮城県高等学校文化連盟自然科学専門部、宮城県高等学校理科学会
- 3 後援 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、東北大学大学院工学研究科（予定）
- 4 場所 日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）
〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5
【発表会場】
2階交流ホール(定員300名) 3階エッグホール(定員92名)
【役員・審査員・生徒控室】(全て2階)
会議室1・2・3 研修室1・3 アトリエ
- 5 日時 令和4年11月4日(金) 9:20～16:15
9:00～9:20 開場・会場準備・荷物搬入(役員・仙台市内の顧問の先生集合)
9:20～9:30 役員打合せ(研修室3を予定)
9:30～ 受付開始・準備(発表30分前まで)
9:30～9:45 審査員打合せ(会議室1を予定)※審査員、各会長、会場責任者のみ
9:50～ 発表開始
15:30～16:00 審査会(研修室と会議室を予定)
※終了したホールの片付け等をする。
～17:00 会場復元完了・撤収・解散
- 6 発表形式 すべての発表をポスター発表形式とする。1題あたりの審査時間はプレゼンテーションと質疑応答を含めて1回あたり8分を目安とする(プレゼンテーションは5分以内)。
(1) 物理・化学・生物・地学の4分野を設ける。
(2) A0サイズ縦型(1189mm×841mm)を上限として、研究内容をまとめた紙(A4サイズで16枚分)をパネルに掲示する。
(3) ポスターの前に立ち、聴衆に対して説明、討論を行う。
(4) ポスターの前に椅子を置き、実物や模型を展示や、タブレット等で動画などを提示することもできる。
(5) コンセントの使用、生物や薬品の持ち込みは不可とする。
(6) 日本語による発表とする。
- 7 参加資格 宮城県高等学校文化連盟に加盟している高等学校・中等教育学校(4年次～6年次)・特別支援学校の高等部、高等専門学校(1年次～3年次)等の生徒とする。また、同一生徒が、二つ以上のテーマに重複して参加することは認めない。
今年度限り、発表生徒のみの参加とする。
- 8 表彰 すべての発表を表彰する。特に、物理・化学・生物・地学の4分野において、それぞれ最優秀賞2題、部会長賞2題を選考し、合計16題を表彰する。なお各分野上位2題を12月26日実施の第2回生徒研修会兼全国高総文祭最終選考会出場チームとする(ただし、「2023かごしま総文」の全日程に参加することが条件で、3年生のみによる発表題、授業における研究の発表題については除く)。

- 9 審査基準 全国高等学校総合文化祭自然科学部門の審査基準に準じて、事前に提出された発表要旨、及びポスター発表を審査する。
- (1) 発表要旨
全国高総文祭の審査基準である次の2つの観点について、3段階で評価し、審査の基礎資料とする。
Ⅰ. 発表論文のまとめ方は適切であるか。
Ⅱ. 調査・研究の手段、情報処理などに創意工夫がなされているか。
- (2) ポスター発表
次の4項目について審査する。
- ① 先行研究をよく理解している
先行研究をよく調べて、その内容を理解している。部活動として継続して取り組んでいるテーマについては、先輩が取り組んだことと自分たちが取り組んだことが明確に分けられている。
- ② 課題設定が適切である
先行研究を踏まえ、テーマの設定や目的の設定が適切である。着眼点が優れており、独創性、新規性がある。
- ③ 論理的に考察されている
結果にもとづき論理的に考察されており、矛盾がない。
- ④ 結果が適切にまとめられている
十分な回数の実験が行われており、数値データが適切に処理され、グラフや表が分かりやすくまとめられ、写真や図が効果的に使われている。
- 10 全国推薦 令和5年7,8月に鹿児島県で開催される第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)自然科学部門の全日程に参加することを条件に優れた理科研究を推薦する。最終選考は令和4年12月26日の第2回生徒研修会で行う。
- (1) 研究発表
物理・化学・生物・地学の4分野についてそれぞれ1題の理科研究を選考し、推薦する。
- (2) ポスター(パネル)発表
物理・化学・生物・地学の4分野の中から1題の理科研究を選考し、推薦する。
- 11 参加費 発表1題につき500円の参加費を徴収する。参加費には要旨集2冊の費用を含む。
- 12 申込み等 (1) 分野、発表題、発表者、見学参加者の申し込み
令和4年9月7日(水)～9月15日(木)の期間に、別紙「申込み要領」に従ってファイルを提出する。
- (2) 発表要旨のファイル提出
令和4年9月26日(月)～10月3日(月)の期間に、別紙「申込み要領」に従ってファイルを提出する。
- (3) 参加費の納入
令和4年10月20日(木)の第2回顧問会議において納入する。なお、2冊を超える要旨集が必要な場合は、1冊につき250円を追加し、合計金額を参加費として納入する。
- 13 その他 (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、決められた時間帯に発表者は「受付」→「発表準備」→(発表会場へ移動)→「ポスター貼付」→「発表 or 聴講」→「退場し帰校・帰宅」のように動く。
今年度は、現時点で、いくつかのグループの発表を聴講できるよう調整しております。詳細は、10/20(木)の顧問会議までにお知らせします。

- (2) 発表者は最大5名までとする。
- (3) 審査結果（最優秀賞・部会長賞・最終選考出場チーム）は宮城県高等学校理科研究会ホームページと限定公開の生徒理科研究発表会ホームページで発表する。
- (4) 高理研および自然科学専門部の役員の先生，生徒引率される先生に前日までの準備や当日の運営協力をお願いする予定です。
仙台市内の先生につきましては，9時集合をお願いすることがありますのでよろしくをお願いします。それ以外の先生につきましては，役員打合せまでに集合願います。
- (5) 例年，発表件数は微増の傾向です。申込状況と会場の運営を検討し，2会場に分けて審査をする場合もあります。